

調査結果の概況

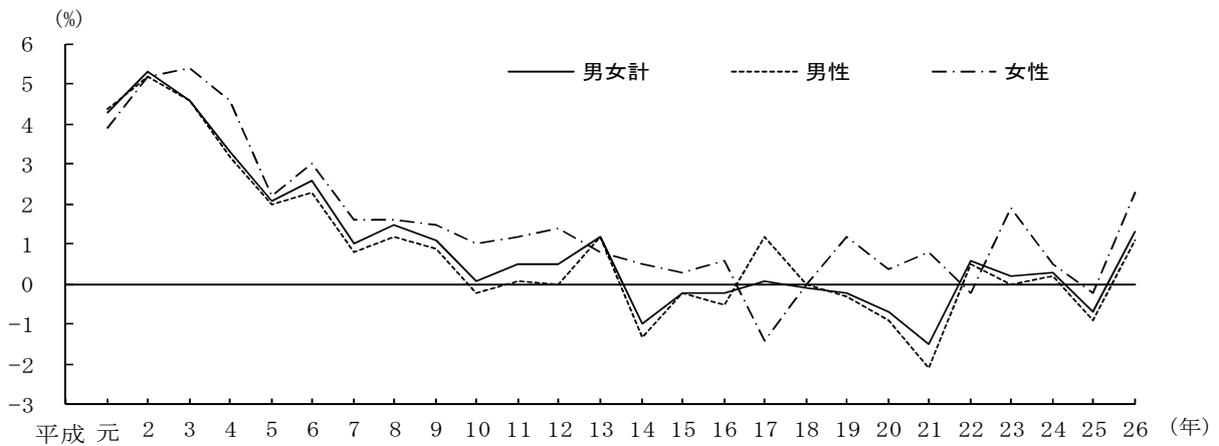
1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計299.6千円(年齢42.1歳、勤続12.1年)、男性329.6千円(年齢42.9歳、勤続13.5年)、女性238.0千円(年齢40.6歳、勤続9.3年)となっており、前年と比べると、男女計では1.3%、男性では1.1%、女性では2.3%それぞれ上昇している。

男性の賃金を100とすると、女性の賃金は72.2(前年71.3)となっており、男女間賃金格差は比較可能な昭和51年の調査以来、過去最小となっている。(第1図、第1表)

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金、対前年増減率及び男女間賃金格差の推移

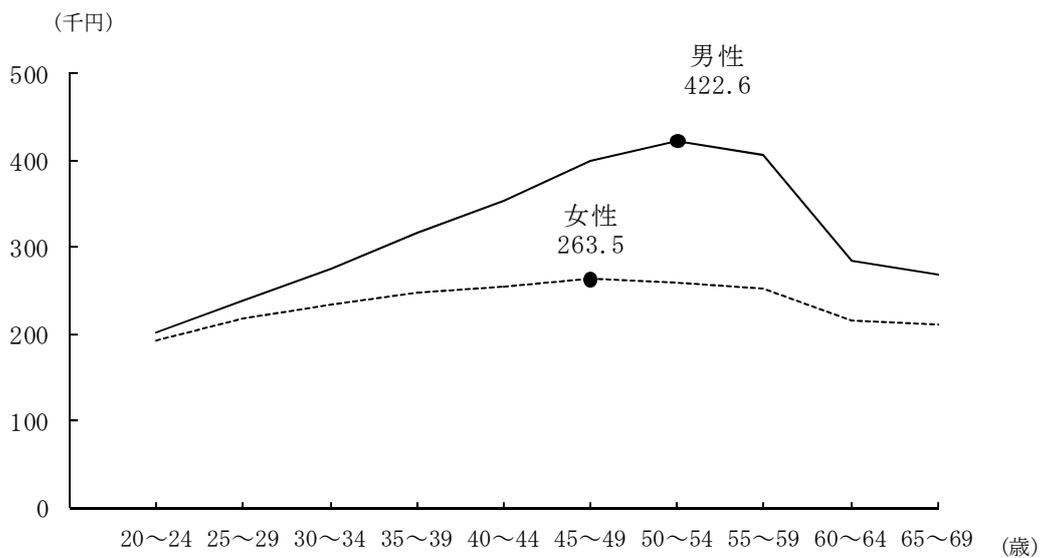
年	男女計		男性		女性		男女間賃金格差 (男性=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
平成元年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9	60.2
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2	60.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4	60.7
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6	61.5
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2	61.6
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0	62.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6	62.5
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6	62.8
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5	63.1
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0	63.9
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2	64.6
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4	65.5
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8	65.3
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5	66.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3	66.8
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6	67.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4	65.9
18	301.8	-0.1	337.7	0.0	222.6	0.0	65.9
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2	66.9
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4	67.8
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8	69.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2	69.3
23	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9	70.6
24	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5	70.9
25	295.7	-0.7	326.0	-0.9	232.6	-0.2	71.3
26	299.6	1.3	329.6	1.1	238.0	2.3	72.2
平成26年 年齢(歳)	42.1		42.9		40.6		
勤続年数(年)	12.1		13.5		9.3		

(2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ*をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で422.6千円（20～24歳の賃金を100とすると209）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、45～49歳の263.5千円（同137）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)
年齢計	329.6	1.1	163	238.0	2.3	123
20~24歳	202.5	0.9	100	192.9	1.3	100
25~29	238.2	0.7	118	218.4	1.5	113
30~34	276.3	0.4	136	235.1	2.0	122
35~39	316.8	0.7	156	247.9	1.3	129
40~44	355.0	-0.6	175	255.4	2.2	132
45~49	400.4	0.7	198	263.5	2.6	137
50~54	422.6	1.2	209	260.2	2.4	135
55~59	406.1	2.9	201	252.7	3.1	131
60~64	284.7	1.3	141	216.0	3.3	112
65~69	268.6	1.9	133	210.6	1.2	109
年齢(歳)	42.9			40.6		
勤続年数(年)	13.5			9.3		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。

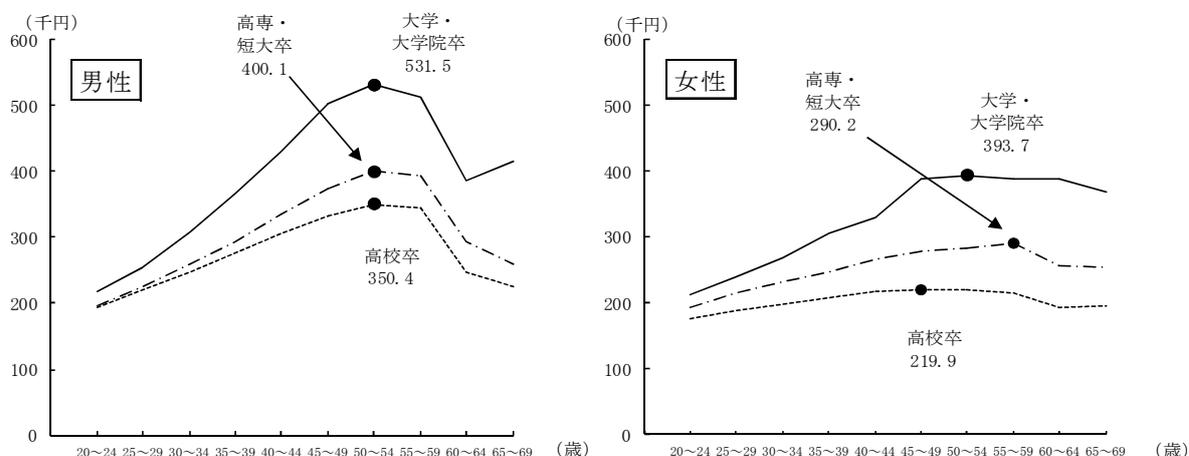
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が396.4千円（前年比0.3%増）、高専・短大卒が304.0千円（同1.7%増）、高校卒が286.8千円（同1.3%増）、女性では、大学・大学院卒が284.7千円（同1.2%増）、高専・短大卒が249.1千円（同1.8%増）、高校卒が205.7千円（同2.4%増）となっており、男女ともに全ての学歴において前年を上回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、大学・大学院卒、高専・短大卒及び高校卒の全ての学歴において50～54歳、女性では、大学・大学院卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳、高校卒で45～49歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブが急になっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

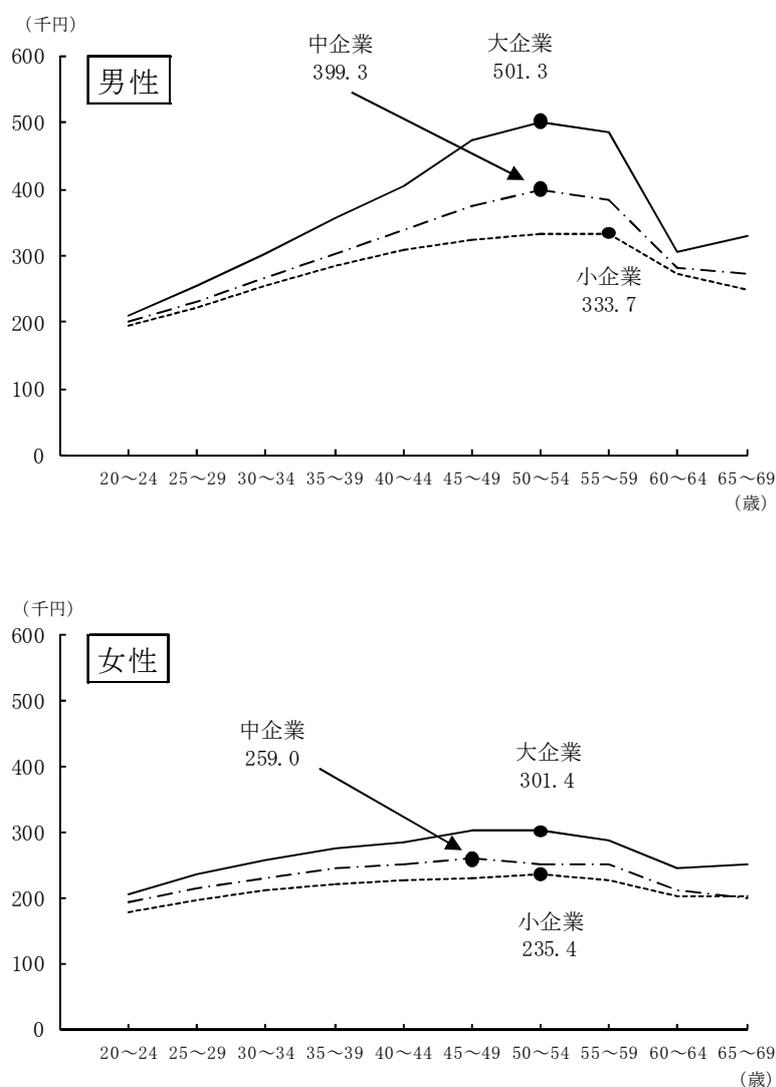
性、年齢階級	大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	396.4	0.3	181	304.0	1.7	156	286.8	1.3	148
	20～24歳	218.9	1.6	100	195.2	-0.1	100	194.1	0.6	100
	25～29	255.4	0.6	117	225.8	-1.0	116	219.9	1.5	113
	30～34	307.3	0.1	140	259.5	0.0	133	248.5	0.1	128
	35～39	367.6	0.0	168	294.7	1.0	151	277.3	0.2	143
	40～44	429.2	-1.1	196	336.2	-0.6	172	307.0	0.2	158
	45～49	503.1	-0.2	230	375.1	0.6	192	331.6	1.9	171
	50～54	531.5	0.7	243	400.1	2.7	205	350.4	1.6	181
	55～59	512.3	0.6	234	394.0	2.2	202	344.2	1.9	177
	60～64	385.2	-1.9	176	293.5	2.5	150	247.4	1.3	127
65～69	416.5	-5.9	190	258.7	15.3	133	225.0	1.5	116	
年齢(歳)	41.8			39.9			43.9			
勤続年数(年)	13.1			11.9			14.1			
女性	年齢計	284.7	1.2	135	249.1	1.8	129	205.7	2.4	118
	20～24歳	211.3	1.1	100	192.5	0.4	100	175.0	1.0	100
	25～29	239.0	1.4	113	214.4	0.0	111	188.6	3.6	108
	30～34	269.3	1.2	127	231.6	0.9	120	196.7	2.6	112
	35～39	305.9	1.2	145	246.8	-0.9	128	206.9	2.3	118
	40～44	329.5	-1.3	156	266.4	1.3	138	216.7	3.4	124
	45～49	387.1	1.9	183	278.2	1.5	145	219.9	1.9	126
	50～54	393.7	0.7	186	283.3	2.9	147	219.6	1.9	125
	55～59	388.3	2.7	184	290.2	3.9	151	216.0	1.6	123
	60～64	387.7	2.7	183	255.6	-0.4	133	192.9	2.6	110
65～69	367.3	-3.0	174	253.1	5.8	131	195.9	-1.2	112	
年齢(歳)	35.0			39.9			43.7			
勤続年数(年)	7.2			9.5			10.3			

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が381.9千円（前年比0.9%増）、中企業が312.1千円（同0.9%増）、小企業が285.9千円（同0.1%増）、女性では、大企業が265.2千円（同2.2%増）、中企業が233.8千円（同1.8%増）、小企業が214.6千円（同1.3%増）となっており、男女ともに全ての企業規模において前年を上回っている。また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で82（前年82）、女性で88（同89）、小企業の賃金は、男性で75（同75）、女性で81（同82）となっている。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、大企業及び中企業において50～54歳で、大企業501.3千円（20～24歳の賃金を100とすると238）、中企業399.3千円（同199）、小企業が55～59歳で333.7千円（同172）となっている。女性では、大企業及び小企業において50～54歳で、大企業301.4千円（同146）、小企業235.4千円（同131）、中企業が45～49歳で259.0千円（同135）となっており、男性に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級	大企業				中企業				小企業				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格差 (20~24 歳=100)			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格差 (20~24 歳=100)			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格差 (20~24 歳=100)	
男性	年齢計	381.9	0.9	100	182	312.1	0.9	82 (82)	155	285.9	0.1	75 (75)	147
	20~24歳	210.3	0.3	100	100	200.9	1.8	96 (94)	100	194.0	0.3	92 (92)	100
	25~29	254.7	0.2	100	121	231.1	1.2	91 (90)	115	222.9	0.1	88 (88)	115
	30~34	303.3	0.0	100	144	266.6	1.5	88 (87)	133	255.2	-1.2	84 (85)	132
	35~39	357.4	0.6	100	170	301.9	0.6	84 (84)	150	285.6	-0.2	80 (81)	147
	40~44	405.5	-2.3	100	193	339.1	0.5	84 (81)	169	309.8	-0.7	76 (75)	160
	45~49	473.3	-0.2	100	225	373.6	1.0	79 (78)	186	323.6	-0.8	68 (69)	167
	50~54	501.3	-0.6	100	238	399.3	2.4	80 (77)	199	333.4	-0.7	67 (67)	172
	55~59	485.1	3.3	100	231	384.5	0.5	79 (81)	191	333.7	1.8	69 (70)	172
	60~64	306.1	6.1	100	146	280.9	-2.5	92 (100)	140	273.3	1.2	89 (94)	141
	65~69	330.3	2.6	100	157	272.4	2.0	82 (83)	136	249.5	1.3	76 (77)	129
	年齢(歳)	42.3				42.3				44.2			
勤続年数(年)	15.9				12.9				11.3				
女性	年齢計	265.2	2.2	100	129	233.8	1.8	88 (89)	122	214.6	1.3	81 (82)	120
	20~24歳	206.0	1.7	100	100	192.3	0.7	93 (94)	100	179.3	0.1	87 (88)	100
	25~29	237.3	2.2	100	115	215.4	1.1	91 (92)	112	196.8	-0.7	83 (85)	110
	30~34	257.7	2.0	100	125	230.4	1.2	89 (90)	120	212.4	0.5	82 (84)	118
	35~39	274.4	1.8	100	133	245.7	1.9	90 (89)	128	220.6	-1.4	80 (83)	123
	40~44	284.1	2.9	100	138	251.1	2.7	88 (89)	131	228.3	-0.5	80 (83)	127
	45~49	301.3	1.9	100	146	259.0	2.2	86 (86)	135	228.9	2.2	76 (76)	128
	50~54	301.4	2.5	100	146	250.5	-0.5	83 (86)	130	235.4	4.4	78 (77)	131
	55~59	288.4	3.2	100	140	249.7	2.7	87 (87)	130	227.0	1.5	79 (80)	127
	60~64	246.5	0.6	100	120	211.2	4.8	86 (82)	110	201.5	1.9	82 (81)	112
	65~69	249.8	1.1	100	121	199.3	1.8	80 (79)	104	201.5	1.0	81 (81)	112
	年齢(歳)	39.5				40.5				41.7			
勤続年数(年)	10.2				8.9				8.9				

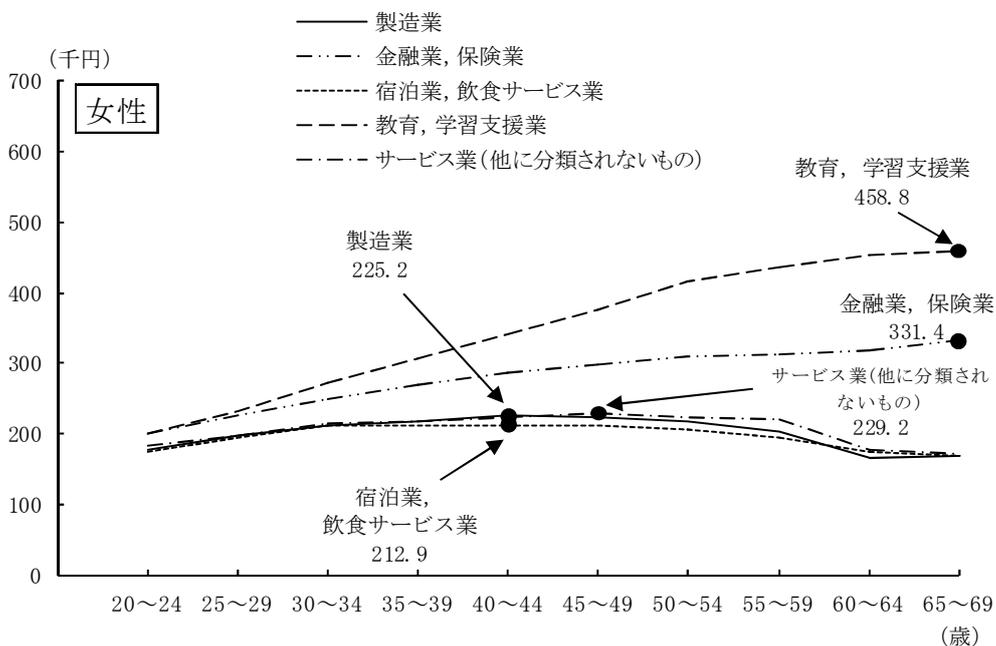
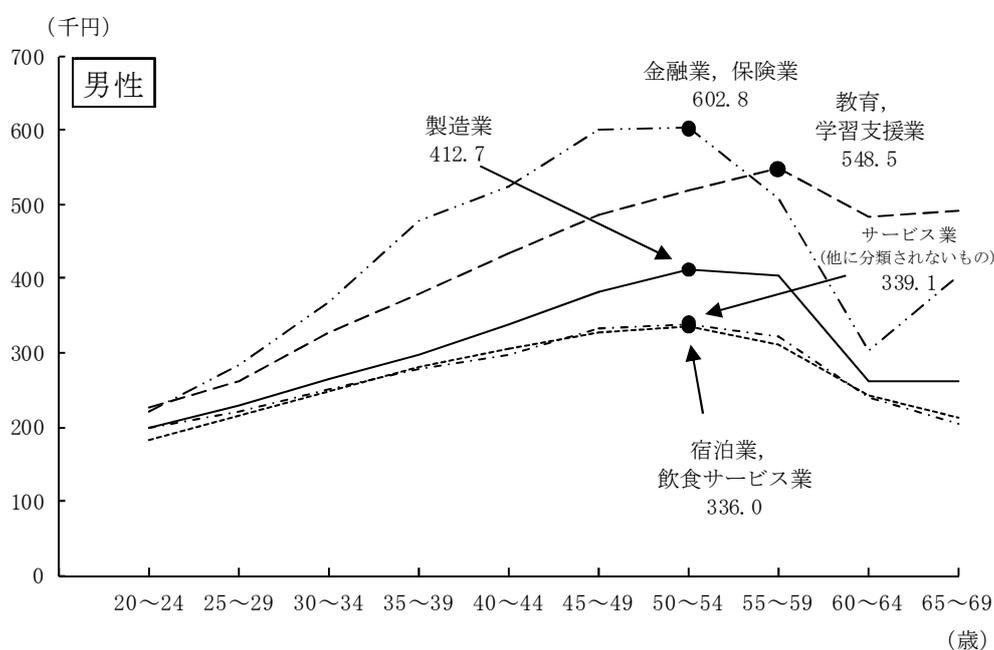
注：()内は、平成25年の数値である。

(5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(465.5千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(436.0千円)となり、宿泊業、飲食サービス業(272.3千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(312.4千円)が最も高く、宿泊業、飲食サービス業(195.4千円)が最も低くなっている。

更に賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は50～54歳で賃金がピークとなり、その後60～64歳まで大きく下降している。また、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、金融業、保険業及び教育、学習支援業は、年齢階級が高くなるるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）	
男性	年齢計	332.0	316.2	385.6	275.7	338.4	465.5	402.1	272.3	291.2	436.0	338.3	276.7	
	20～24歳	208.0	198.1	221.3	208.1	200.3	220.3	214.8	182.8	194.0	226.6	201.7	198.5	
	賃金（千円）	25～29	243.3	229.6	257.3	234.0	237.7	284.5	261.4	214.6	227.1	260.3	238.5	219.5
		30～34	277.9	264.5	307.2	258.5	276.4	369.1	317.4	248.1	268.9	327.1	279.4	249.4
		35～39	318.2	297.4	365.5	275.6	324.9	477.7	381.8	281.2	303.6	378.7	313.9	277.5
		40～44	357.2	339.0	423.7	290.5	368.9	524.0	424.8	304.1	340.9	433.0	358.4	298.6
		45～49	394.0	383.3	487.0	304.4	415.2	601.6	485.6	328.6	367.3	486.6	427.3	332.3
		50～54	406.2	412.7	530.9	322.6	438.0	602.8	523.2	336.0	357.0	520.0	473.1	339.1
		55～59	404.3	403.8	531.0	297.7	432.6	508.1	530.6	311.8	350.6	548.5	478.5	322.4
		60～64	314.2	261.2	322.3	224.4	290.0	303.6	378.1	242.1	242.4	483.4	427.3	239.0
	65～69	276.4	261.0	365.3	197.9	266.9	405.4	352.2	213.3	220.9	492.5	468.8	204.4	
	賃金(年齢計)の対前年増減率(%)	0.6	0.4	-4.5	3.8	3.6	1.2	0.8	3.3	2.1	-1.1	-2.6	3.1	
	年齢(歳)	44.7	42.0	40.0	46.2	42.0	43.1	42.8	41.4	40.6	46.2	40.1	45.1	
	勤続年数(年)	14.4	15.1	13.5	12.4	14.3	15.8	14.0	9.7	10.3	13.6	8.3	9.9	
	年齢階級間賃金格差	年齢計	160	160	174	132	169	211	187	149	150	192	168	139
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	117	116	116	112	119	129	122	117	117	115	118	111
		30～34	134	134	139	124	138	168	148	136	139	144	139	126
		35～39	153	150	165	132	162	217	178	154	156	167	156	140
		40～44	172	171	191	140	184	238	198	166	176	191	178	150
45～49		189	193	220	146	207	273	226	180	189	215	212	167	
50～54		195	208	240	155	219	274	244	184	184	229	235	171	
55～59		194	204	240	143	216	231	247	171	181	242	237	162	
60～64		151	132	146	108	145	138	176	132	125	213	212	120	
65～69		133	132	165	95	133	184	164	117	114	217	232	103	
女性		年齢計	229.7	206.3	288.2	210.6	232.6	269.4	276.1	195.4	213.7	312.4	248.0	211.7
	20～24歳	193.7	178.1	215.9	191.4	187.4	199.3	207.2	175.3	185.9	199.8	201.6	183.5	
	賃金（千円）	25～29	208.3	197.9	251.4	205.7	212.3	225.5	243.5	195.2	209.7	233.2	226.2	198.7
		30～34	229.1	210.7	272.6	220.3	230.2	250.2	273.1	212.3	225.9	272.2	239.9	216.1
		35～39	223.2	216.5	304.7	220.2	247.4	268.2	278.6	211.8	236.8	307.9	257.0	218.2
		40～44	240.5	225.2	319.4	227.9	255.9	285.4	300.0	212.9	239.8	342.2	259.9	224.8
		45～49	256.0	223.7	345.8	221.3	270.0	297.8	326.2	211.8	234.0	375.7	270.5	229.2
		50～54	247.7	218.4	364.2	211.8	258.5	309.7	325.5	207.6	228.0	414.5	265.9	222.3
		55～59	246.9	204.2	348.7	195.6	238.4	312.4	306.9	193.8	206.0	436.7	273.8	219.3
		60～64	216.0	165.4	373.2	180.9	179.6	319.4	259.1	174.1	178.7	453.7	241.3	177.5
	65～69	195.9	170.0	213.7	165.9	194.9	331.4	251.5	168.0	164.2	458.8	225.8	172.4	
	賃金(年齢計)の対前年増減率(%)	0.9	1.1	-0.8	3.7	6.6	1.5	-1.7	5.2	1.5	1.7	1.0	4.0	
	年齢(歳)	42.2	42.2	36.0	41.0	39.4	40.5	37.8	40.2	38.1	38.9	40.9	41.7	
	勤続年数(年)	10.9	11.7	9.3	9.0	9.7	11.4	9.8	7.5	7.6	9.7	7.9	6.9	
	年齢階級間賃金格差	年齢計	119	116	133	110	124	135	133	111	115	156	123	115
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	108	111	116	107	113	113	118	111	113	117	112	108
		30～34	118	118	126	115	123	126	132	121	122	136	119	118
		35～39	115	122	141	115	132	135	134	121	127	154	127	119
		40～44	124	126	148	119	137	143	145	121	129	171	129	123
45～49		132	126	160	116	144	149	157	121	126	188	134	125	
50～54		128	123	169	111	138	155	157	118	123	207	132	121	
55～59		127	115	162	102	127	157	148	111	111	219	136	120	
60～64		112	93	173	95	96	160	125	99	96	227	120	97	
65～69		101	95	99	87	104	166	121	96	88	230	112	94	

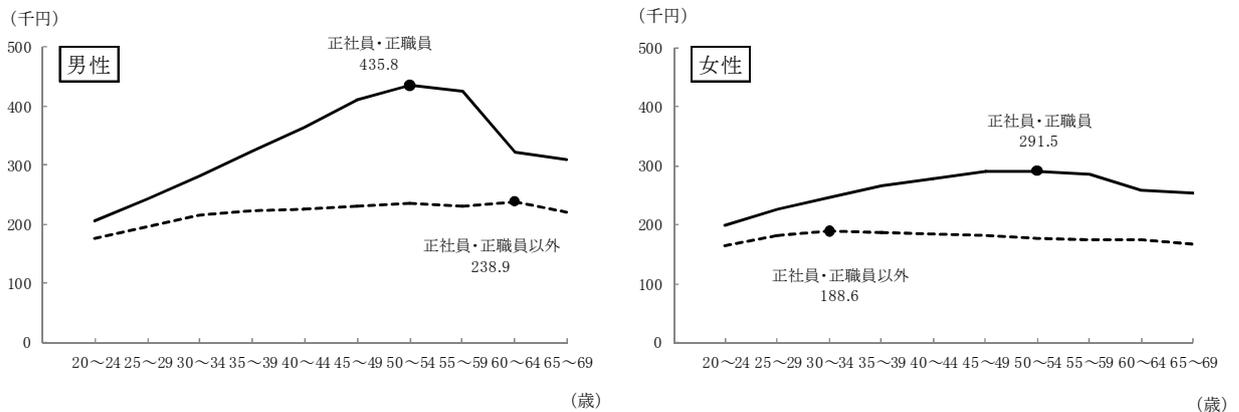
(6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、正社員・正職員317.7千円（年齢41.4歳、勤続13.0年）、正社員・正職員以外200.3千円（年齢46.1歳、勤続7.5年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員343.2千円（前年比0.8%増）、正社員・正職員以外222.2千円（同2.4%増）、女性では、正社員・正職員256.6千円（同1.9%増）、正社員・正職員以外179.2千円（同3.0%増）となっている。

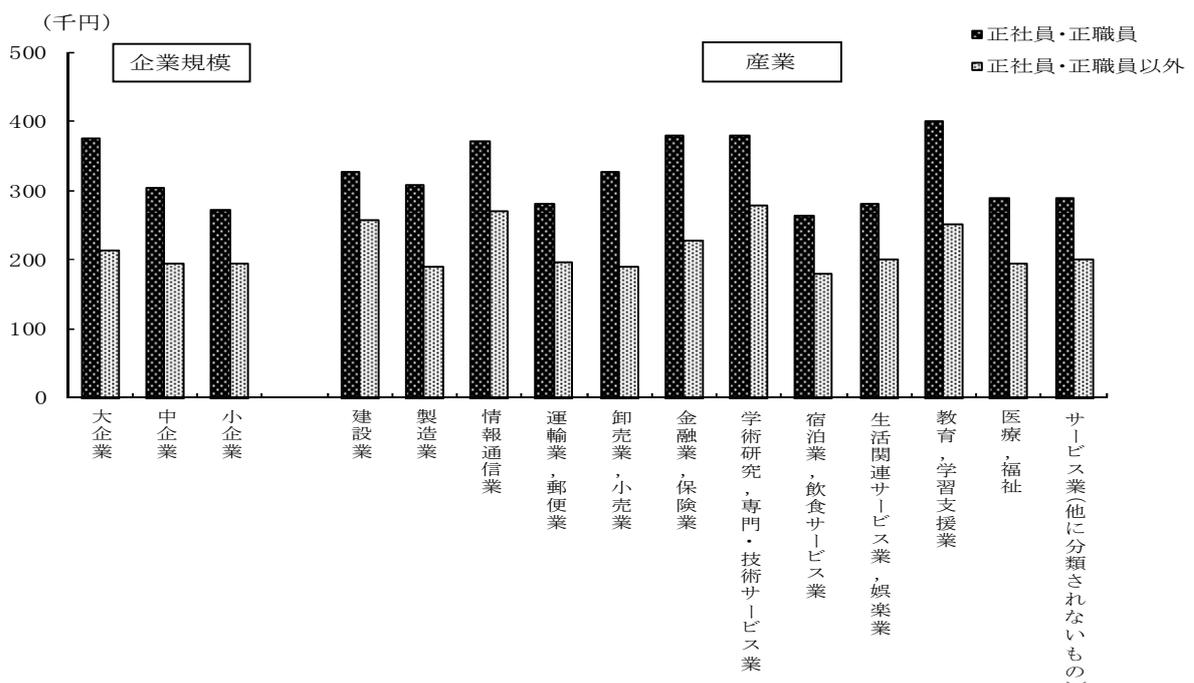
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

正社員・正職員の賃金を100とすると、正社員・正職員以外の賃金は、男女計で63（前年62）、男性で65（同64）、女性で70（同69）となっている。なお、賃金格差が大きいのは、企業規模別では、大企業で57（同55）、主な産業別では、卸売業、小売業で58（同58）となっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第7図 雇用形態、企業規模・主な産業別賃金（男女計）



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

年齢階級	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
年齢計	317.7	1.0	200.3	2.6	63 (62)	343.2	0.8	222.2	2.4	65 (64)	256.6	1.9	179.2	3.0	70 (69)
20～24歳	202.4	0.7	170.1	1.1	84 (84)	205.9	0.4	176.9	2.7	86 (84)	198.3	1.1	164.4	-0.3	83 (84)
25～29	236.8	0.7	187.8	-0.1	79 (80)	243.2	0.3	195.1	-0.5	80 (81)	226.3	1.5	181.2	1.1	80 (80)
30～34	271.6	0.4	200.9	1.6	74 (73)	282.4	0.2	214.8	0.8	76 (76)	247.1	1.6	188.6	2.8	76 (75)
35～39	307.9	0.6	203.0	2.2	66 (65)	323.9	0.7	224.0	0.7	69 (69)	264.5	0.6	187.1	3.3	71 (69)
40～44	341.6	-0.1	200.8	2.6	59 (57)	363.7	-0.5	226.5	0.1	62 (62)	277.3	1.8	184.6	3.9	67 (65)
45～49	379.3	0.3	198.7	3.3	52 (51)	411.1	0.4	231.3	3.1	56 (55)	291.0	1.5	181.7	4.0	62 (61)
50～54	398.7	1.0	197.0	1.7	49 (49)	435.8	0.9	234.1	2.2	54 (53)	291.5	2.2	177.0	2.0	61 (61)
55～59	390.3	2.6	198.8	3.8	51 (50)	424.7	3.0	231.4	2.7	54 (55)	285.5	2.2	173.1	4.6	61 (59)
60～64	306.3	1.8	220.2	2.1	72 (72)	321.9	1.2	238.9	1.9	74 (74)	258.5	4.1	173.7	3.5	67 (68)
65～69	295.8	-0.2	205.2	5.1	69 (66)	310.4	-1.0	219.9	6.2	71 (66)	253.0	2.0	167.5	4.8	66 (64)
年齢(歳)	41.4		46.1			42.2		48.2			39.5		44.1		
勤続年数(年)	13.0		7.5			14.1		8.4			10.1		6.6		

注:()内は、平成25年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

企業規模	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
大企業	373.8	0.4	212.8	4.0	57 (55)	401.7	0.7	234.8	4.6	58 (56)	293.5	1.5	190.5	3.5	65 (64)
中企業	302.9	0.7	193.1	1.3	64 (63)	326.0	0.3	213.5	1.6	65 (65)	253.6	1.6	174.8	1.4	69 (69)
小企業	272.1	0.0	192.6	1.2	71 (70)	292.9	0.0	216.0	-0.6	74 (74)	225.0	0.5	169.1	3.7	75 (73)

注:()内は、平成25年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

産業	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
産業計	317.7	1.0	200.3	2.6	63 (62)	343.2	0.8	222.2	2.4	65 (64)	256.6	1.9	179.2	3.0	70 (69)
建設業	326.4	0.4	256.0	5.9	78 (74)	337.9	0.1	271.6	7.1	80 (75)	237.4	1.7	181.2	-8.3	76 (85)
製造業	307.8	0.3	189.9	1.6	62 (61)	327.0	0.2	215.1	1.8	66 (65)	224.5	0.8	160.7	1.6	72 (71)
情報通信業	370.8	-5.4	268.6	6.6	72 (64)	389.3	-6.0	304.9	8.4	78 (68)	298.7	-3.9	236.9	7.9	79 (71)
運輸業、郵便業	279.3	3.3	194.8	2.0	70 (71)	284.7	3.5	205.0	3.0	72 (72)	229.3	3.6	167.2	1.0	73 (75)
卸売業、小売業	327.0	4.0	188.9	3.5	58 (58)	350.2	3.4	215.9	4.5	62 (61)	259.9	7.4	172.0	3.1	66 (69)
金融業、保険業	379.7	1.9	227.1	-7.1	60 (66)	475.0	1.7	285.3	-12.7	60 (70)	277.2	1.8	196.9	-1.4	71 (73)
学術研究、専門・技術サービス業	379.2	-0.8	278.7	-2.6	73 (75)	407.6	0.7	331.6	-1.9	81 (84)	288.6	-3.1	208.4	3.4	72 (68)
宿泊業、飲食サービス業	263.6	3.1	179.6	2.7	68 (68)	287.8	3.0	199.2	0.9	69 (71)	213.7	4.2	165.9	4.0	78 (78)
生活関連サービス業、娯楽業	278.9	0.0	198.8	8.1	71 (66)	311.7	1.4	206.1	5.2	66 (64)	225.0	-2.3	193.8	10.8	86 (76)
教育、学習支援業	399.8	-0.5	251.0	0.8	63 (62)	450.2	-1.0	290.9	1.4	65 (63)	327.4	1.7	215.0	-1.3	66 (68)
医療、福祉	287.6	0.1	192.6	3.3	67 (65)	353.3	-3.4	219.1	3.9	62 (58)	260.0	1.0	185.3	3.3	71 (70)
サービス業 (他に分類されないもの)	288.2	2.1	198.7	4.7	69 (67)	302.8	2.0	206.2	4.8	68 (66)	235.5	2.8	189.5	4.8	80 (79)

注:1)産業計には、上掲のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

2) ()内は、平成25年の数値である。

(7) 賃金の分布

賃金の分布を男女別にみると、男性では、55～59歳までは年齢階級が高くなるとともに労働者が最も多く分布する賃金階級も高くなる傾向にある。一方、女性では、労働者が最も多く分布する賃金階級の年齢による違いは男性ほど大きくない。

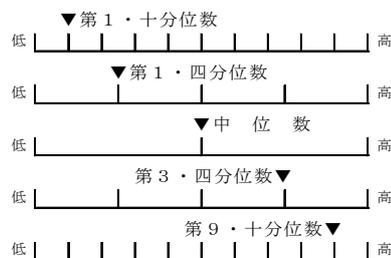
賃金分布の広がりを分散係数でみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりをみると、男女とも30歳以上の各年齢階級で大学・大学院卒が他の学歴に比べ大きくなっており、年齢階級が高くなるほどその傾向は顕著となっている。（第9表、第8図）

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-1）

賃金階級	男性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
100.0 ～ 119.9	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.6
120.0 ～ 139.9	0.4	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	1.0	2.4
140.0 ～ 159.9	1.4	3.4	1.7	1.1	0.8	0.6	0.6	0.8	1.2	3.5	6.6
160.0 ～ 179.9	3.0	6.8	3.7	2.3	1.7	1.4	1.5	1.5	2.2	7.2	10.8
180.0 ～ 199.9	4.9	15.4	6.3	4.2	2.8	2.4	2.1	2.1	3.1	10.1	12.4
200.0 ～ 219.9	6.3	22.7	10.6	6.2	4.1	3.4	2.9	2.6	3.5	10.6	10.5
220.0 ～ 239.9	7.6	23.0	15.9	9.0	5.6	4.3	3.3	3.4	4.0	11.0	10.0
240.0 ～ 259.9	8.0	14.8	18.6	12.1	7.2	5.4	4.0	3.4	4.1	8.2	8.0
260.0 ～ 279.9	7.8	6.6	15.3	12.9	9.2	6.1	4.6	4.1	4.3	8.6	6.3
280.0 ～ 299.9	7.1	2.8	10.4	11.7	9.6	7.0	4.9	4.3	4.4	6.6	5.3
300.0 ～ 319.9	6.5	1.5	6.2	10.5	9.7	7.9	5.7	4.7	4.6	3.9	4.5
320.0 ～ 339.9	5.9	0.9	3.8	8.0	9.0	7.5	5.9	5.0	4.8	4.5	4.4
340.0 ～ 359.9	5.2	0.4	2.4	5.8	7.7	7.5	6.0	4.9	5.1	3.0	2.5
360.0 ～ 399.9	4.5	0.2	1.5	4.1	6.4	6.8	5.9	4.8	5.0	2.4	1.9
400.0 ～ 449.9	7.5	0.3	1.5	5.0	9.6	11.5	11.0	10.0	9.3	3.6	1.9
450.0 ～ 499.9	7.0	0.1	0.9	3.1	6.9	10.1	11.1	11.7	11.1	4.0	2.5
500.0 ～ 599.9	4.8	0.1	0.4	1.6	3.9	6.2	8.6	9.2	8.4	2.4	1.5
600.0 ～ 699.9	5.8	0.1	0.2	1.2	3.2	6.9	11.2	12.2	11.3	3.9	2.1
700.0 ～ 799.9	2.9	0.0	0.1	0.5	1.1	2.6	5.5	7.4	6.2	2.1	1.8
800.0 ～ 899.9	1.4	0.0	0.1	0.2	0.5	1.1	2.2	3.9	3.4	1.1	1.3
900.0 ～ 999.9	0.7	-	0.0	0.1	0.2	0.5	1.2	1.8	1.5	0.7	0.8
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.1	0.1	0.3	0.7	0.8	0.6	0.3	0.4
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.0	0.2	0.2	0.5	0.6	0.5	0.4	0.5
平均値 (千円)	329.6	202.5	238.2	276.3	316.8	355.0	400.4	422.6	406.1	284.7	268.6
第1・十分位数 (千円)	180.6	157.0	174.1	187.3	201.2	210.0	216.1	216.1	197.1	155.4	140.8
第1・四分位数 (千円)	223.2	178.3	203.2	223.4	245.4	263.8	283.1	290.7	269.7	185.5	167.5
中位数 (千円)	289.9	200.6	232.3	263.1	297.9	330.6	368.4	393.1	374.3	235.1	212.0
第3・四分位数 (千円)	392.0	223.4	264.5	311.3	363.1	413.2	480.0	513.8	495.3	317.2	289.7
第9・十分位数 (千円)	522.5	247.4	304.5	371.7	444.0	518.2	608.0	658.5	644.6	479.1	434.1
十分位分散係数	0.59	0.23	0.28	0.35	0.41	0.47	0.53	0.56	0.60	0.69	0.69
	(0.59)	(0.23)	(0.29)	(0.36)	(0.40)	(0.48)	(0.56)	(0.59)	(0.60)	(0.68)	(0.76)
四分位分散係数	0.29	0.11	0.13	0.17	0.20	0.23	0.27	0.28	0.30	0.28	0.29
	(0.29)	(0.11)	(0.14)	(0.17)	(0.20)	(0.23)	(0.27)	(0.29)	(0.31)	(0.30)	(0.29)

注： 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べたとき、以下の説明内容に該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

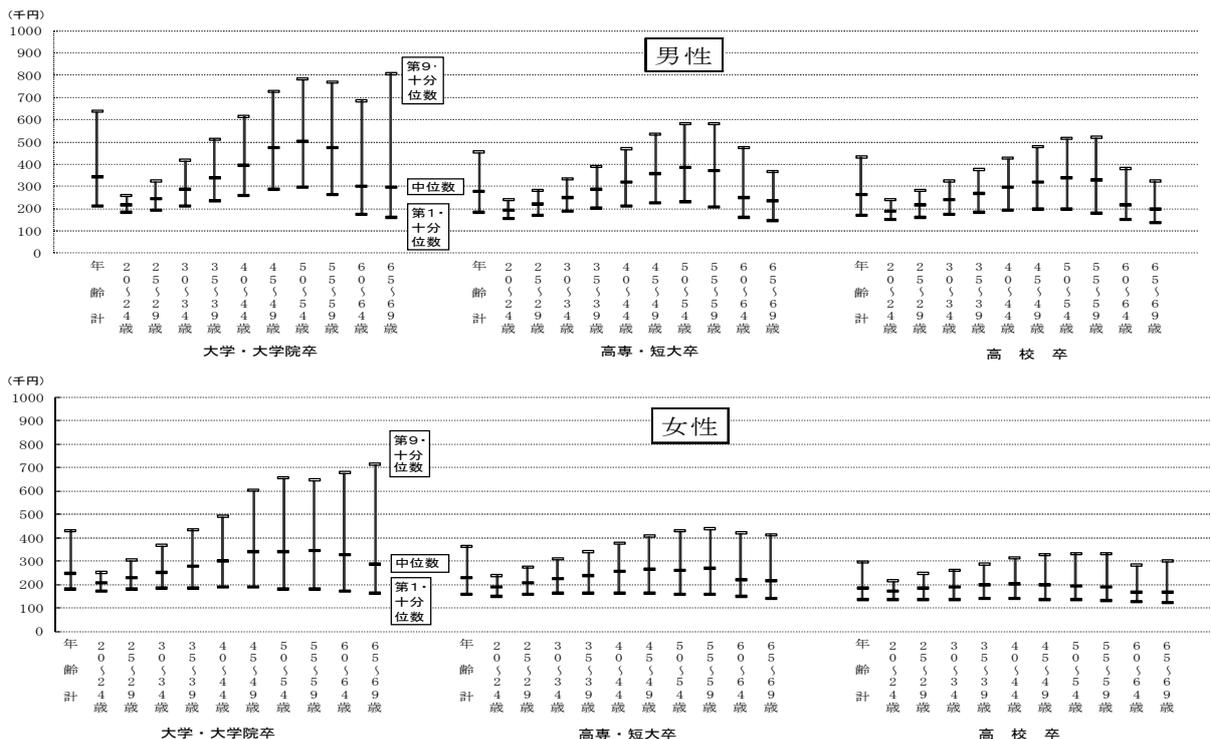
○ 十分位分散係数 = $\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$ ○ 四分位分散係数 = $\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$

3) () 内は、平成25年の数値である。

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-2）

賃金階級	女性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5	0.9
120.0 ～ 139.9	1.6	1.0	1.0	1.2	1.3	1.4	1.4	1.7	2.2	4.4	5.4
140.0 ～ 159.9	5.7	5.8	3.6	3.9	4.0	4.6	5.5	6.4	7.3	14.4	16.0
160.0 ～ 179.9	9.9	11.5	7.9	7.2	7.7	8.3	9.1	10.3	12.4	17.9	18.7
180.0 ～ 199.9	11.9	20.1	11.4	9.6	9.7	9.3	10.3	11.5	11.4	14.8	14.2
200.0 ～ 219.9	11.8	20.7	15.2	11.6	9.6	9.5	9.5	9.4	9.6	10.3	10.7
220.0 ～ 239.9	11.8	19.4	17.0	13.4	10.9	9.3	9.3	8.9	8.3	7.5	7.6
240.0 ～ 259.9	9.7	11.5	14.3	13.2	10.2	8.9	7.0	7.1	7.1	5.4	4.9
260.0 ～ 279.9	8.2	5.3	11.7	10.8	10.5	8.1	7.3	6.5	6.1	4.6	3.3
280.0 ～ 299.9	6.2	2.3	6.9	8.5	8.3	7.7	5.9	5.4	5.5	3.2	3.4
300.0 ～ 319.9	4.8	1.1	4.0	5.9	6.8	6.4	6.0	5.2	4.0	2.4	1.8
320.0 ～ 359.9	3.7	0.5	2.5	4.0	5.1	5.6	4.4	4.4	3.7	2.3	2.1
360.0 ～ 399.9	5.3	0.5	2.7	5.2	7.0	8.3	7.6	6.4	6.1	2.8	2.6
400.0 ～ 449.9	3.2	0.2	0.8	2.2	3.8	4.8	5.6	4.8	5.3	1.8	2.2
450.0 ～ 499.9	2.3	0.0	0.4	1.3	2.0	3.3	4.4	4.3	4.0	2.1	1.5
500.0 ～ 599.9	1.3	0.0	0.2	0.7	0.9	1.6	2.1	2.5	2.4	1.8	1.2
600.0 ～ 699.9	1.2	0.0	0.3	0.5	0.9	1.4	2.2	2.5	2.3	1.9	1.6
700.0 ～ 799.9	0.5	-	0.1	0.3	0.4	0.5	0.8	1.2	0.9	1.1	0.7
800.0 ～ 899.9	0.2	-	0.0	0.2	0.1	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6
900.0 ～ 999.9	0.1	-	-	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.2	0.5
1000.0 ～	0.1	-	-	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
平均値 (千円)	238.0	192.9	218.4	235.1	247.9	255.4	263.5	260.2	252.7	216.0	210.6
第1・十分位数 (千円)	145.7	146.3	154.3	154.4	152.8	150.3	146.9	143.4	140.5	128.8	125.3
第1・四分位数 (千円)	172.8	167.2	181.4	185.1	184.5	182.5	176.8	170.9	165.1	146.7	142.9
中位数 (千円)	214.9	190.3	213.1	224.5	232.3	236.6	233.2	224.3	216.2	177.2	172.7
第3・四分位数 (千円)	272.9	215.9	247.4	268.9	287.1	304.5	314.9	310.8	304.1	239.1	226.6
第9・十分位数 (千円)	352.8	239.7	285.0	322.9	351.6	376.1	406.4	415.2	407.6	352.2	334.7
十分位分散係数	0.48 (0.48)	0.25 (0.25)	0.31 (0.30)	0.38 (0.38)	0.43 (0.44)	0.48 (0.49)	0.56 (0.57)	0.61 (0.61)	0.62 (0.65)	0.63 (0.62)	0.61 (0.66)
四分位分散係数	0.23 (0.23)	0.13 (0.13)	0.15 (0.15)	0.19 (0.19)	0.22 (0.23)	0.26 (0.26)	0.30 (0.30)	0.31 (0.32)	0.32 (0.32)	0.26 (0.26)	0.24 (0.28)

第8図 性、学歴、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数

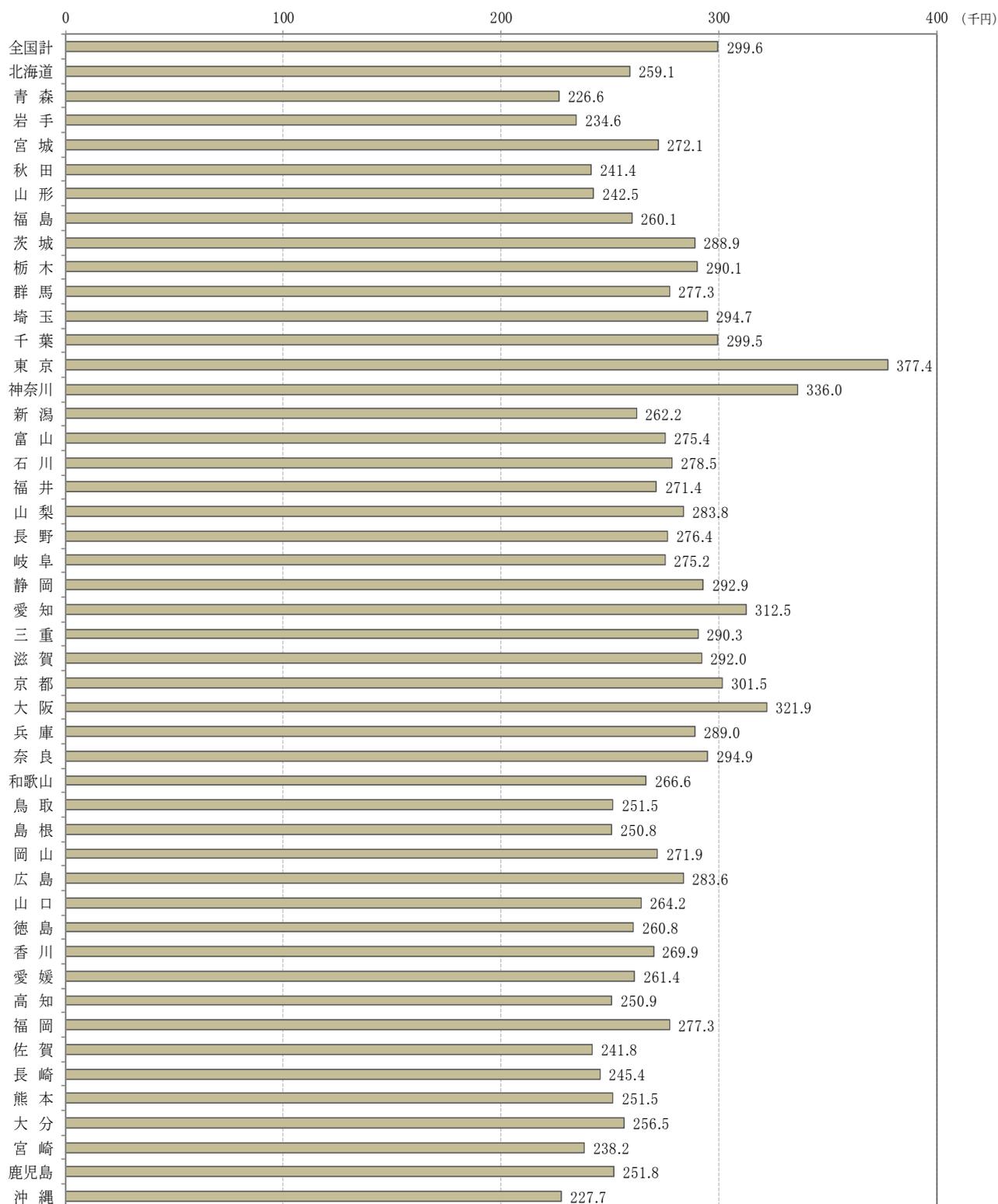


注:第9表 注:1)参照。

(8) 都道府県別の賃金

都道府県別の賃金の水準をみると、全国計（299.6千円）よりも賃金が高かったのは5都府県（東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府）となり、最も高かったのは東京都（377.4千円）となっている（第9図）。

第9図 全国計及び都道府県別賃金（男女計）

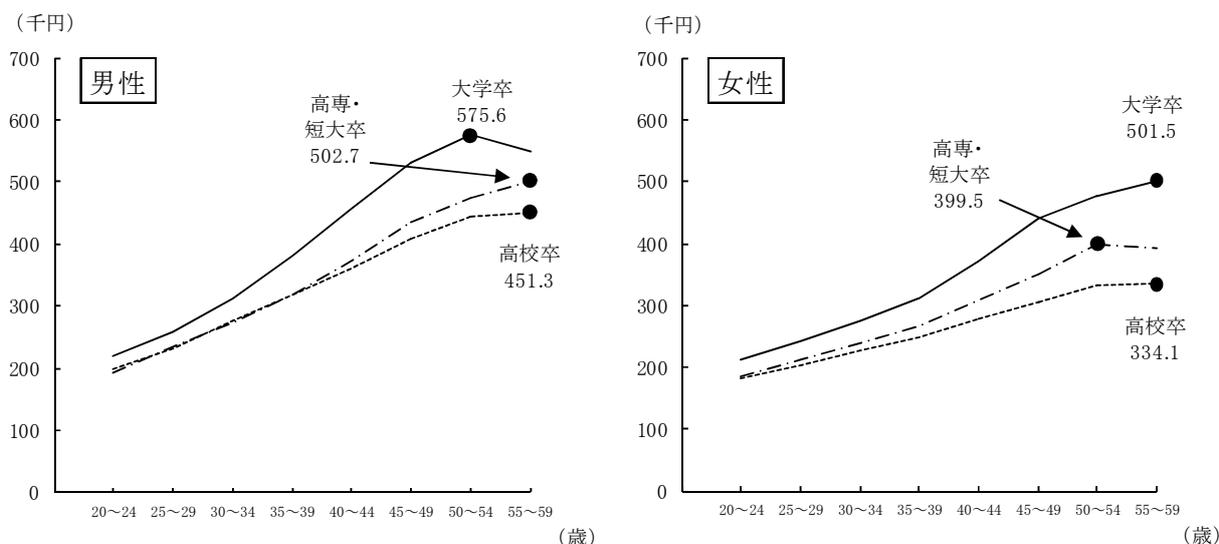


(9) 標準労働者の賃金

標準労働者について、賃金がピークとなる年齢階級を学歴別にみると、男性では、大学卒で50～54歳、高専・短大卒及び高校卒で55～59歳、女性では、大学卒及び高校卒で55～59歳、高専・短大卒で50～54歳となっている。

学歴別に20～24歳の賃金を100とすると、男性では、大学卒で賃金がピークとなる50～54歳で263、高専・短大卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で高専・短大卒が260、高校卒が226、女性では、大学卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で大学卒が237、高校卒が184、高専・短大卒で賃金がピークとなる50～54歳で215となっている。（第10図、第10表）

第10図 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金



第10表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級	大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	393.0	0.5	180	313.5	0.5	162	326.6	1.0	163
	20～24歳	218.6	1.7	100	193.1	0.5	100	199.9	1.1	100
	25～29	258.9	1.1	118	235.9	0.8	122	232.8	0.6	116
	30～34	312.2	-0.1	143	273.4	-1.8	142	276.1	0.9	138
	35～39	382.1	-0.8	175	319.2	-1.1	165	317.8	0.0	159
	40～44	457.9	-1.1	209	371.2	-1.7	192	361.7	-0.2	181
	45～49	529.9	0.3	242	434.3	0.1	225	409.9	0.1	205
	50～54	575.6	1.5	263	473.6	-1.8	245	445.3	-0.4	223
	55～59	550.3	0.1	252	502.7	-0.4	260	451.3	1.5	226
女性	年齢計	263.4	2.1	125	250.5	4.5	135	234.5	2.0	129
	20～24歳	211.3	1.1	100	186.1	0.8	100	182.0	1.7	100
	25～29	241.8	2.8	114	212.1	0.7	114	203.5	4.0	112
	30～34	275.9	3.3	131	238.5	-0.5	128	227.1	3.9	125
	35～39	311.5	-0.7	147	267.8	0.1	144	247.9	-0.3	136
	40～44	371.7	1.9	176	309.2	1.8	166	277.4	-0.3	152
	45～49	440.1	0.7	208	349.5	1.5	188	306.8	-0.5	169
	50～54	477.3	-0.7	226	399.5	9.3	215	332.6	1.7	183
	55～59	501.5	11.0	237	394.0	3.8	212	334.1	-0.4	184

(10) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者が50～54歳で330.6千円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で496.0千円、女性では、生産労働者が40～44歳で191.9千円、管理・事務・技術労働者が50～54歳で279.1千円となっている（第11表）。

第11表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性						女性					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	268.5	1.7	137	388.5	0.2	186	177.5	2.4	105	245.5	0.1	127
20～24歳	195.6	0.8	100	208.6	0.6	100	168.8	2.2	100	192.8	1.6	100
25～29	219.4	0.6	112	248.7	-0.1	119	175.2	2.7	104	219.6	1.5	114
30～34	246.6	0.8	126	297.1	1.0	142	181.7	1.6	108	239.8	3.7	124
35～39	270.0	0.2	138	343.9	0.2	165	186.1	1.4	110	245.1	-0.3	127
40～44	297.4	1.0	152	397.7	-1.5	191	191.9	3.5	114	258.2	-0.2	134
45～49	315.8	1.9	161	454.2	-1.3	218	184.2	0.9	109	272.7	-3.1	141
50～54	330.6	3.6	169	490.6	-2.1	235	182.1	2.1	108	279.1	-0.4	145
55～59	324.7	0.4	166	496.0	1.8	238	177.0	2.2	105	266.9	1.0	138
60～64	225.9	-0.9	115	319.4	-2.2	153	154.3	5.3	91	207.0	-0.7	107
年齢(歳)	40.7			44.0			43.5			40.5		
勤続年数(年)	13.6			17.4			11.0			12.6		

(11) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業に属する労働者について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級657.6千円（前年比0.8%増）、課長級522.3千円（同1.8%増）、係長級392.6千円（同1.7%増）、女性では、部長級585.9千円（同12.2%減）、課長級466.9千円（同5.1%増）、係長級353.9千円（同5.6%増）となっている（第12表）。

第12表 役職、性別賃金、対前年増減率及び役職・非役職間賃金格差
(企業規模100人以上)

役職	男性				女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	年齢 (歳)
部長級	657.6	0.8	316 (316)	52.4	585.9	-12.2	287 (332)	52.2
課長級	522.3	1.8	251 (249)	48.0	466.9	5.1	229 (221)	48.2
係長級	392.6	1.7	188 (187)	44.0	353.9	5.6	174 (167)	44.2
非役職者 (20～24歳)	208.4	1.0	100 (100)		203.9	1.4	100 (100)	

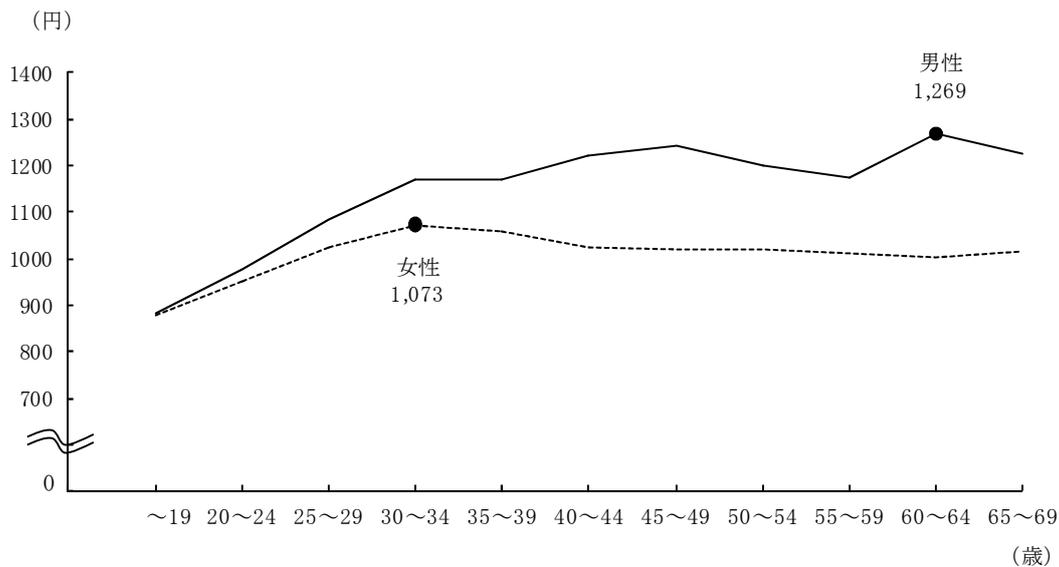
注：()内は、平成25年の数値である。

2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男性が1,120円（前年比2.3%増）、女性が1,012円（同0.5%増）となっている。男性、女性ともに25～29歳以降は1,000円を超えており、男性では、60～64歳で1,269円と最も高く、女性では、30～34歳で1,073円と最も高くなっている。（第11図、第13表）

第11図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金



第13表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,120	2.3	115	1,012	0.5	106
～19歳	883	1.1	91	878	2.6	92
20～24	975	0.8	100	952	0.3	100
25～29	1,084	3.3	111	1,025	-0.3	108
30～34	1,168	-0.2	120	1,073	2.8	113
35～39	1,169	0.2	120	1,058	-0.9	111
40～44	1,220	2.4	125	1,023	0.7	107
45～49	1,244	2.1	128	1,020	0.1	107
50～54	1,198	3.5	123	1,018	0.8	107
55～59	1,173	3.1	120	1,010	0.5	106
60～64	1,269	2.6	130	1,003	-0.3	105
65～69	1,225	4.3	126	1,015	1.2	107
年齢(歳)	43.4			45.6		
実労働日数(日)	15.8			17.0		
1日当たり所定内実労働 時間数(時間)	5.4			5.3		
勤続年数(年)	5.1			5.8		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,072円（前年比1.9%増）、中企業が1,159円（同2.3%増）、小企業が1,155円（同3.4%増）、女性では、大企業が1,007円（同0.2%増）、中企業が1,031円（同1.0%増）、小企業が1,001円（同0.4%増）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,072	1.9	100	1,007	0.2	100
中 企 業	1,159	2.3	108	1,031	1.0	102
小 企 業	1,155	3.4	108	1,001	0.4	99

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,120	2.3	100
	製造業	1,186	-1.0	106
	運輸業、郵便業	1,132	0.4	101
	卸売業、小売業	1,012	1.2	90
	宿泊業、飲食サービス業	941	2.2	84
	サービス業(他に分類されないもの)	1,136	5.4	101
女 性	産業計	1,012	0.5	100
	製造業	917	1.4	91
	卸売業、小売業	939	-0.2	93
	宿泊業、飲食サービス業	912	1.4	90
	医療、福祉	1,231	-1.4	122
	サービス業(他に分類されないもの)	989	2.5	98

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、更に、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

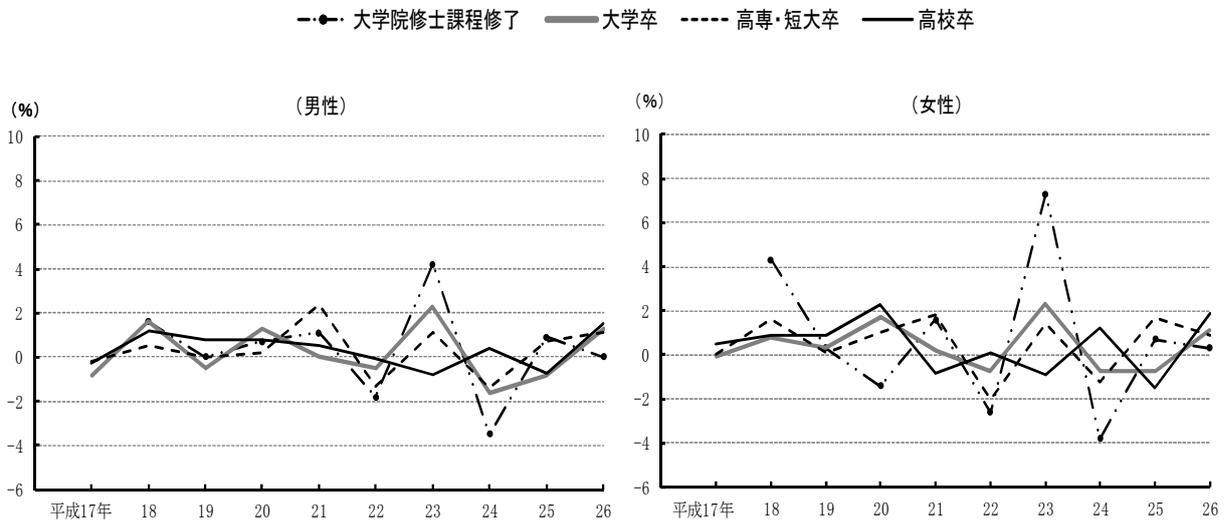
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成26年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、男女計、男女別ともに横ばいだった男性の大学院修士課程修了を除き、全ての学歴で前年を上回っている（第12図、第16表、第13図）。

男女計	大学院修士課程修了	228.3 千円	(対前年増減率 0.1%)
	大 学 卒	200.4 千円	(" 1.2%)
	高 専 ・ 短 大 卒	174.1 千円	(" 1.1%)
	高 校 卒	158.8 千円	(" 1.8%)
男性	大学院修士課程修了	227.7 千円	(対前年増減率 0.0%)
	大 学 卒	202.9 千円	(" 1.3%)
	高 専 ・ 短 大 卒	176.1 千円	(" 1.1%)
	高 校 卒	161.3 千円	(" 1.5%)
女性	大学院修士課程修了	230.7 千円	(対前年増減率 0.3%)
	大 学 卒	197.2 千円	(" 1.1%)
	高 専 ・ 短 大 卒	172.8 千円	(" 0.9%)
	高 校 卒	154.2 千円	(" 1.9%)

第12図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移



注：大学院修士課程修了については、平成17年から調査している。

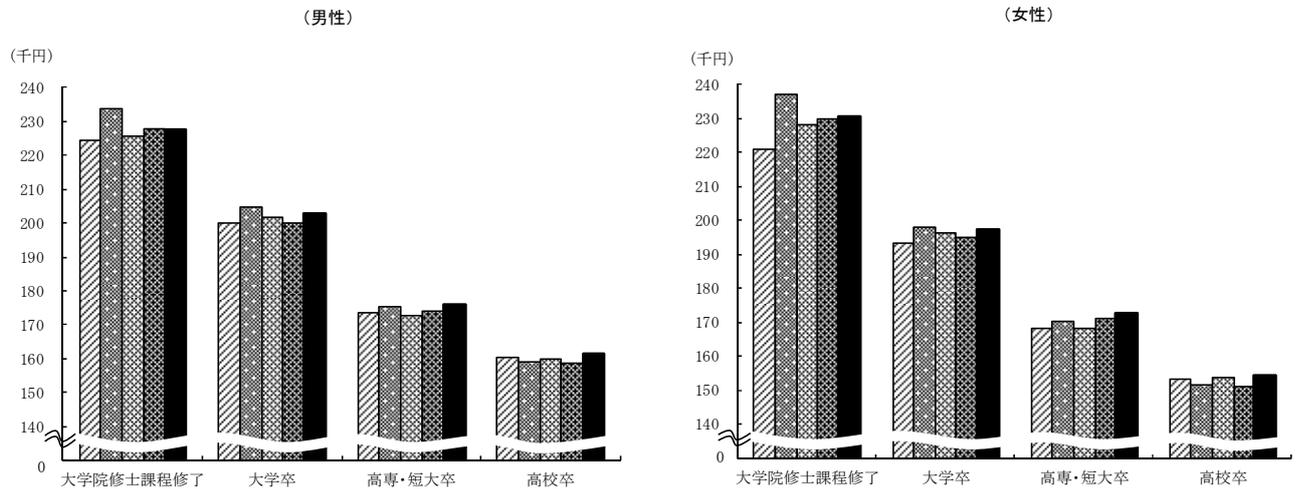
第16表 性、学歴別初任給の推移

年	男女計				男性				女性			
	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
平成 22年	千円 224.0 (-1.9)	千円 197.4 (-0.7)	千円 170.3 (-1.7)	千円 157.8 (0.0)	千円 224.5 (-1.8)	千円 200.3 (-0.5)	千円 173.6 (-1.3)	千円 160.7 (-0.1)	千円 221.2 (-2.6)	千円 193.5 (-0.7)	千円 168.2 (-2.0)	千円 153.2 (0.1)
23	234.5 (4.7)	202.0 (2.3)	172.5 (1.3)	156.5 (-0.8)	233.9 (4.2)	205.0 (2.3)	175.5 (1.1)	159.4 (-0.8)	237.3 (7.3)	197.9 (2.3)	170.5 (1.4)	151.8 (-0.9)
24	226.1 (-3.6)	199.6 (-1.2)	170.1 (-1.4)	157.9 (0.9)	225.6 (-3.5)	201.8 (-1.6)	173.0 (-1.4)	160.1 (0.4)	228.4 (-3.8)	196.5 (-0.7)	168.4 (-1.2)	153.6 (1.2)
25	228.1 (0.9)	198.0 (-0.8)	172.2 (1.2)	156.0 (-1.2)	227.7 (0.9)	200.2 (-0.8)	174.2 (0.7)	158.9 (-0.7)	230.0 (0.7)	195.1 (-0.7)	171.2 (1.7)	151.3 (-1.5)
26	228.3 (0.1)	200.4 (1.2)	174.1 (1.1)	158.8 (1.8)	227.7 (0.0)	202.9 (1.3)	176.1 (1.1)	161.3 (1.5)	230.7 (0.3)	197.2 (1.1)	172.8 (0.9)	154.2 (1.9)

注: ()内は、対前年増減率(%)である。

第13図 性、学歴別初任給の推移

□平成22年 ▨平成23年 ▩平成24年 ▪平成25年 ■平成26年



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）の女性を除き、男女ともに前年を上回っている。また、高校卒では、男女ともに全ての企業規模で前年を上回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業=100）をみると、大学卒では、小企業の男性を除き、男女ともに全ての企業規模で格差が縮小している。また、高校卒では男女ともに全ての企業規模で格差が縮小している。（第17表）

第17表 性、企業規模、学歴別初任給及び対前年増減率、企業規模間格差

性、企業規模		大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒			
		初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)										
		平成26年	25年		平成26年	25年		平成26年	25年		平成26年	25年		
初任給 及び 対前年 増減率	男女計	企業規模計	228.3	228.1	0.1	200.4	198.0	1.2	174.1	172.2	1.1	158.8	156.0	1.8
		大企業	232.6	232.9	-0.1	203.3	202.5	0.4	178.3	184.1	-3.2	160.9	160.2	0.4
		中企業	220.7	220.3	0.2	200.1	197.0	1.6	176.4	172.5	2.3	158.1	154.9	2.1
		小企業	221.2	215.1	2.8	194.2	190.0	2.2	169.7	166.9	1.7	158.3	154.1	2.7
	男性	企業規模計	227.7	227.7	0.0	202.9	200.2	1.3	176.1	174.2	1.1	161.3	158.9	1.5
		大企業	231.8	231.4	0.2	205.5	203.6	0.9	178.0	181.5	-1.9	161.5	161.2	0.2
		中企業	221.0	221.6	-0.3	202.6	199.1	1.8	176.5	172.3	2.4	161.0	157.8	2.0
		小企業	216.4	214.6	0.8	197.3	194.6	1.4	173.9	170.5	2.0	161.7	158.1	2.3
	女性	企業規模計	230.7	230.0	0.3	197.2	195.1	1.1	172.8	171.2	0.9	154.2	151.3	1.9
		大企業	236.9	240.6	-1.5	200.5	200.9	-0.2	178.7	186.7	-4.3	159.2	157.4	1.1
		中企業	219.6	216.3	1.5	196.5	194.3	1.1	176.4	172.7	2.1	153.9	151.1	1.9
		小企業	230.5	216.8	6.3	190.4	185.1	2.9	168.0	165.9	1.3	151.8	148.1	2.5
企業規模間格差	男女計	中企業	95	95	/	98	97	/	99	94	/	98	97	/
		小企業	95	92	/	96	94	/	95	91	/	98	96	/
	男性	中企業	95	96	/	99	98	/	99	95	/	100	98	/
		小企業	93	93	/	96	96	/	98	94	/	100	98	/
	女性	中企業	93	90	/	98	97	/	99	93	/	97	96	/
		小企業	97	90	/	95	92	/	94	89	/	95	94	/

注：1） 常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。
 2） 企業規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、高い産業は、男女ともに学術研究，専門・技術サービス業（男性215.4千円、女性219.3千円）、情報通信業（男性210.0千円、女性207.2千円）となっている。一方、低い産業は、男性は医療，福祉（193.7千円）、運輸業，郵便業（194.1千円）、女性は宿泊業，飲食サービス業（185.8千円）、金融業，保険業（190.5千円）となっている。高校卒では、高い産業は、男性は情報通信業（174.2千円）、教育，学習支援業（167.1千円）、女性は生活関連サービス業，娯楽業（162.8千円）、情報通信業（160.1千円）となっている。一方、低い産業は、男性は金融業，保険業（147.2千円）、医療，福祉（153.7千円）、女性は金融業，保険業（145.7千円）、運輸業，郵便業（151.7千円）、医療，福祉（151.7千円）となっている。（第18表）

第18表 性、産業、学歴別初任給及び対前年増減率

性、産業	大学院修士課程修了			大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	
	平成26年	25年		平成26年	25年		平成26年	25年		平成26年	25年		
男	産 業 計	228.3	228.1	0.1	200.4	198.0	1.2	174.1	172.2	1.1	158.8	156.0	1.8
	建 設 業	231.1	225.0	2.7	201.5	198.0	1.8	181.0	178.0	1.7	164.9	159.5	3.4
	製 造 業	225.6	225.0	0.3	198.9	198.7	0.1	173.5	172.6	0.5	158.9	157.2	1.1
	情 報 通 信 業	225.5	236.3	-4.6	209.0	211.7	-1.3	182.9	177.1	3.3	164.7	160.0	2.9
	運 輸 業 ， 郵 便 業	215.8	218.8	-1.4	192.9	188.6	2.3	174.3	179.8	-3.1	158.2	159.4	-0.8
	卸 売 業 ， 小 売 業	243.7	244.6	-0.4	202.2	199.1	1.6	171.0	169.0	1.2	161.6	154.0	4.9
	金 融 業 ， 保 険 業	225.1	221.4	1.7	196.1	193.3	1.4	164.6	159.3	3.3	145.9	146.4	-0.3
	学術研究，専門・技術サービス業	232.7	225.8	3.1	216.9	206.9	4.8	177.1	175.7	0.8	160.1	156.9	2.0
	宿泊業，飲食サービス業	192.5	198.3	-2.9	191.1	190.1	0.5	166.2	164.1	1.3	155.0	152.3	1.8
	生活関連サービス業，娯楽業	219.4	220.1	-0.3	200.9	200.2	0.3	159.5	163.6	-2.5	163.5	165.9	-1.4
	教育，学習支援業	249.0	232.6	7.1	199.3	198.2	0.6	175.6	174.4	0.7	154.6	159.1	-2.8
	医 療 ， 福 祉 サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	202.8	205.2	-1.2	195.8	192.7	1.6	176.5	174.5	1.1	152.3	147.9	3.0
	212.9	228.0	-6.6	200.0	195.7	2.2	172.7	170.1	1.5	158.0	155.4	1.7	
女	産 業 計	227.7	227.7	0.0	202.9	200.2	1.3	176.1	174.2	1.1	161.3	158.9	1.5
	建 設 業	232.1	225.0	3.2	203.5	199.8	1.9	183.6	178.8	2.7	165.3	161.1	2.6
	製 造 業	225.4	224.8	0.3	199.9	199.9	0.0	176.2	176.3	-0.1	161.2	159.2	1.3
	情 報 通 信 業	225.1	235.2	-4.3	210.0	212.2	-1.0	182.2	180.4	1.0	174.2	165.2	5.4
	運 輸 業 ， 郵 便 業	217.2	220.0	-1.3	194.1	190.8	1.7	175.7	177.1	-0.8	159.4	162.3	-1.8
	卸 売 業 ， 小 売 業	240.3	235.5	2.0	203.3	200.6	1.3	169.2	170.1	-0.5	164.2	155.8	5.4
	金 融 業 ， 保 険 業	226.0	223.0	1.3	203.0	198.4	2.3	178.6	190.5	-6.2	147.2	147.7	-0.3
	学術研究，専門・技術サービス業	232.4	225.9	2.9	215.4	208.0	3.6	185.1	181.0	2.3	163.6	157.7	3.7
	宿泊業，飲食サービス業	185.2	191.9	-3.5	198.6	193.2	2.8	168.1	164.9	1.9	157.7	153.2	2.9
	生活関連サービス業，娯楽業	221.0	221.2	-0.1	205.5	204.1	0.7	162.5	162.7	-0.1	165.3	178.5	-7.4
	教育，学習支援業	248.7	255.8	-2.8	208.8	205.6	1.6	179.1	172.2	4.0	167.1	162.3	3.0
	医 療 ， 福 祉 サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	208.4	204.5	1.9	193.7	189.6	2.2	181.8	180.4	0.8	153.7	145.9	5.3
	214.0	229.4	-6.7	200.1	197.3	1.4	177.1	173.1	2.3	159.1	158.3	0.5	
男	産 業 計	230.7	230.0	0.3	197.2	195.1	1.1	172.8	171.2	0.9	154.2	151.3	1.9
	建 設 業	222.3	224.9	-1.2	194.3	189.4	2.6	176.5	175.2	0.7	157.6	143.1	10.1
	製 造 業	226.4	225.8	0.3	196.3	195.5	0.4	168.9	162.6	3.9	152.9	151.9	0.7
	情 報 通 信 業	227.5	242.7	-6.3	207.2	210.9	-1.8	185.6	169.4	9.6	160.1	157.3	1.8
	運 輸 業 ， 郵 便 業	206.4	207.1	-0.3	190.9	183.6	4.0	171.7	182.9	-6.1	151.7	148.6	2.1
	卸 売 業 ， 小 売 業	251.7	260.9	-3.5	200.3	197.2	1.6	174.9	167.2	4.6	159.2	152.8	4.2
	金 融 業 ， 保 険 業	222.6	216.5	2.8	190.5	188.4	1.1	163.0	156.1	4.4	145.7	146.3	-0.4
	学術研究，専門・技術サービス業	233.7	224.9	3.9	219.3	205.2	6.9	169.1	170.4	-0.8	153.9	153.9	0.0
	宿泊業，飲食サービス業	* 208.7	* 205.1	1.8	185.8	188.4	-1.4	164.9	163.5	0.9	153.3	151.9	0.9
	生活関連サービス業，娯楽業	* 210.0	* 219.4	-4.3	196.1	196.7	-0.3	158.7	163.9	-3.2	162.8	161.0	1.1
	教育，学習支援業	249.6	213.0	17.2	195.4	194.9	0.3	175.3	174.5	0.5	152.8	154.5	-1.1
	医 療 ， 福 祉 サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	196.2	205.7	-4.6	196.7	193.9	1.4	175.3	173.6	1.0	151.7	148.5	2.2
	208.0	224.4	-7.3	199.7	192.8	3.6	164.3	163.4	0.6	155.5	148.5	4.7	

注：産業計には、上掲の産業のほか、鉱業，採石業，砂利採取業，電気・ガス・熱供給・水道業，不動産業，物品賃貸業，複合サービス事業を含む。

(4) 学歴別にみた初任給の分布

初任給の分布を学歴別にみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ34.2%、22.2%となっている。高校卒では、男性で16万円台が最も多く（38.6%）、女性で15万円台が最も多く（24.7%）となっている。（第19表）

第19表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒採用者数割合

初任給の階級	男 女 計				男性				女性			
	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 109.9				0.0				0.1				0.0
110.0 ～ 119.9				0.4				0.1				0.8
120.0 ～ 129.9			1.0	2.7			0.8	1.6			1.2	4.6
130.0 ～ 139.9			2.6	6.9			1.8	4.3			3.2	11.6
140.0 ～ 149.9		1.3	6.2	14.2		0.9	4.0	9.9		1.8	7.6	22.0
150.0 ～ 159.9		2.0	13.2	24.6		1.6	9.9	24.6		2.6	15.4	24.7
160.0 ～ 169.9	0.5	3.7	19.7	32.0	0.5	2.2	19.7	38.6	0.5	5.7	19.7	20.1
170.0 ～ 179.9	0.5	9.0	20.2	11.0	0.4	6.5	24.6	12.7	0.7	12.3	17.2	8.0
180.0 ～ 189.9	1.7	11.4	16.2	4.7	1.3	9.6	19.1	4.7	3.8	13.8	14.4	4.6
190.0 ～ 199.9	3.0	15.7	8.8	1.7	2.6	15.5	8.5	1.7	5.0	15.9	9.0	1.7
200.0 ～ 209.9	7.7	29.0	6.4	1.8	7.8	34.2	6.0	1.7	7.1	22.2	6.7	1.8
210.0 ～ 219.9	13.2	11.7	2.9		13.4	13.2	2.7		12.0	9.6	3.0	
220.0 ～ 229.9	24.5	8.3	0.6		25.8	7.9	1.0		18.6	8.9	0.4	
230.0 ～ 239.9	29.0	2.8	2.1		30.5	2.9	1.9		22.0	2.6	2.3	
240.0 ～ 249.9	9.5	2.0			9.3	2.6			10.0	1.3		
250.0 ～ 259.9	2.7	1.3			2.3	1.1			5.0	1.6		
260.0 ～ 269.9	5.7	1.4			4.4	1.2			12.0	1.6		
270.0 ～ 279.9	0.6				0.7				0.3			
280.0 ～ 299.9	0.6				0.3				2.1			
300.0 ～	0.8	0.4			0.8	0.5			1.0	0.1		
平均額(千円)	228.3 (228.1)	200.4 (198.0)	174.1 (172.2)	158.8 (156.0)	227.7 (227.7)	202.9 (200.2)	176.1 (174.2)	161.3 (158.9)	230.7 (230.0)	197.2 (195.1)	172.8 (171.2)	154.2 (151.3)
第1・十分位数(千円)	207.4 (202.1)	173.0 (171.1)	150.1 (147.6)	140.0 (136.3)	208.2 (202.8)	176.9 (173.6)	152.7 (150.3)	143.7 (141.9)	199.8 (200.7)	169.8 (167.7)	147.2 (147.0)	133.4 (130.8)
中位数(千円)	229.4 (227.8)	201.6 (200.5)	172.4 (170.3)	160.2 (157.4)	229.1 (227.8)	203.1 (201.6)	175.2 (173.3)	161.7 (160.5)	230.5 (227.9)	197.3 (195.9)	171.1 (167.2)	153.6 (151.5)
第9・十分位数(千円)	250.7 (244.7)	224.5 (223.0)	201.8 (198.0)	176.2 (172.4)	246.9 (243.4)	225.7 (223.0)	201.4 (197.0)	176.5 (174.4)	263.8 (273.9)	223.4 (223.1)	202.1 (199.7)	175.4 (170.5)
十分位分散係数	0.09 (0.09)	0.13 (0.13)	0.15 (0.15)	0.11 (0.11)	0.08 (0.09)	0.12 (0.12)	0.14 (0.13)	0.10 (0.10)	0.14 (0.16)	0.14 (0.14)	0.16 (0.16)	0.14 (0.13)

注：1） 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目（真ん中）に該当する者の初任給が中位数である。

2） 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3）（ ）内は、平成25年の数値である。

